

# 芸術資産「評価」 による 次世代への 継承

## 美術館に 期待される 役割

青柳正規  
加治屋健司  
柴山桂太  
田根剛  
名和晃平

▼登壇者

(敬称略・五十音順)

▶日時——2018年11月30日(金) 17:00～19:00 [受付開始 16:30]

▶会場——国立新美術館 3階講堂 [東京都港区六本木 7-22-2]

▶参加費——無料

▶プログラム内容 (敬称略)

17:00～17:10 | キーノートスピーチ

青柳正規 [東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長、前文化庁長官]

17:10～17:50 | ダイアローグ「芸術資産の価値を高めるには？」

青柳正規 [東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長、前文化庁長官]

柴山桂太 [京都大学大学院人間・環境学研究科准教授]

18:00～19:00 | パネルディスカッション

加治屋健司 [東京大学大学院総合文化研究科准教授]

田根剛 [建築家]

名和晃平 [彫刻家]

柴山桂太 [京都大学大学院人間・環境学研究科准教授]

(司会) 青柳正規 [東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長、前文化庁長官]

19:00～19:45 | 参加者交流会

※コーヒー・ソフトドリンクをご用意しております

▶ご参加をご希望の方は、下記申し込みサイトからご登録ください。



<https://form.run/@1130bunka>

※お問い合わせは、上記申し込みサイト内の  
コメント・お問い合わせ欄にご記入の上送信ください。

▼今後、人口減少と超高齢化社会が進行するわが国においては、美術品などの芸術資産を活用するとともに、適切な評価を形成することで国民共有の資産として次世代に継承していくことがきわめて重要になってきており、その評価の役割を担う美術館の役割やあり方に対する関心が高まっています。

▼文化庁では、この機をとらえ、文化・芸術資産の活用の重要性、価値評価を高めていくための方策、今後の美術館のあり方などに関してさまざまな立場から議論するシンポジウムを開催します。

▼参加費不要。どなたでもご自由にご参加いただけます。